



市民ネットワークちば

No.69



左から 湯浅美和子(美浜区)小西由希子(中央区) 長谷川ひろ美(花見川区)川本幸立(緑区・県議) 常賀かつ子(稲毛区)山田京子(若葉区) 福谷章子(緑区)

編集・発行 市民ネットワークちば 発行責任者/坪井はるか・湯浅美和子 〒260-0013 千葉市中央区中央4-10-11 TEL. 043-201-2551 FAX. 043-223-7701

今こそチャンス! 千葉市を変える

6月14日 千葉市長選挙



熊谷俊人さんのプロフィール

生年月日 1978年2月18日(31歳) 千葉市稲毛区穴川在住

【経歴・学歴】

父親の転勤に伴い、千葉・奈良・大阪・兵庫に在住
1995年1月 阪神大震災被災
1997年3月 私立白陵高校卒業
2001年3月 早稲田大学政治経済学部卒業
4月 NTTコミュニケーションズ株式会社入社
2007年4月 千葉市議会議員当選
2009年4月 民主党を離党

【趣味】

登山・詩吟・歴史・バドミントン・テニス・卓球

ホームページ

URL:<http://www.kumagai-chiba.com>

くまがいとしひと 熊谷俊人さんを推薦します

市長逮捕という市政の危機を飛躍のバネに

新しい千葉市へ

市長の逮捕という激震が走った4月22日。「金権政治への麻痺」がこの千葉市に巣くっていることが、あらためて私たちに突きつけられました。市長は容疑を否認しながらも辞意を示し、5月1日臨時議会が開催され辞職が決定。現在は、市長不在というまさに非常事態です。これまで議会の中で、「財政破たんへの道をたどっているのではないかと、市長に対し何度問いかけたことか。私たちが望んでいるのは430億円もかけた「きぼう」の建設や、これから176億円もかけなければならぬモノレールの延伸ではありません。軌道修正する機会があったにもかかわらず、それを見過ごし、

将来世代にツケを回し、将来負担比率が政令市中ワースト1とした責任は免れません。そしてその裏でひそやかに行われていた贈収賄。裏切られた思いは市民にも職員にもあります。ここで、これまで途絶えることなかった官僚型政治を打ち切らなければ、千葉市の未来はありません。

統一候補擁立へ

4年前、私たちは民主党とともに市長選挙を戦いましたが、今一歩及びませんでした。4人が立候補したその時の反省をもとに、今回は絶対に統一候補を擁立しよう、この間他会派とも意見調整を図ってきました。議会内において

「市民ネットワークちば」よりの政策提案

1. 今回の収賄事件について、市独自に第三者機関を設置し、千葉市民への説明責任を果たすこと。政治倫理条例、職員倫理条例を制定すること。口利きの文書化と脱・談合の徹底、議会や有力者への根回しはやめ、政策決定過程・合意形成過程をオープンにすること
2. 市役所職員の意識改革、能力の向上に努め、地方分権を担う意欲に燃えた組織づくりを進めること
3. 二元代表制(憲法93条)を徹底し、市民に直接、説明責任を果たすこと
4. 予算編成過程に市民の意見を反映させる仕組みを作り、お金の使途を市民生活優先に変えること
5. 大型公共事業については、市民を含む第三者の評価機関を作り、見直すこと
6. 個人の尊重(憲法13条)、生存権(25条)の保障を基本に、福祉・保健・医療の連携でセーフティネットを充実させ、子どもからお年寄りまでの、住み慣れた地域での暮らしを支える地域ケアを確立すること
7. 教育行政の中立、公正を守り、行財政的な支援をすすめること
8. 市民自治を育てる仕組み作りをすすめること
 - ・「参加と協働に関する条例」の見直し
 - ・区の権限強化で 自治体内分権を進める
 - ・まちづくり区民会議、タウンミーティング、市民提案制度、住民投票制度の創設等
9. 補助金のあり方・使途を市民で構成する第三者機関で定期的に見直すこと
10. 谷津田・里山をはじめ、市内に残された緑の保全や緑の創出、地下水の保全・涵養に力を注ぐこと
11. 地産地消をすすめ、市内農業の振興をはかること。遊休農地活用のために人材の育成や支援をすすめ、市民の農業への関心を深めたり参加する仕組みをつくること
12. 脱焼却・脱埋め立てのごみ行政をさらに推進し、市民を巻き込んでごみ処理基本計画を実行し、清掃工場の2工場体制を実現すること
13. モノレールの延伸計画を中止し、バスなどの身近な公共交通機関を充実させること



5月7日 熊谷さんと意見交換

共同代表 坪井はるか 湯浅美和子

熊谷さんを市長へ

その動きの中で、民主党市議会議員の熊谷俊人氏が名乗りを挙げました。熊谷氏は、これまで議会内でも活動を進めてきた人物であり、その評価は高く、利権にくみすることなく市政改革を行えると私たちは判断しました。左記の政策提案をし、熊谷さんと合意することができ、市民ネットワークちばとして推薦することを決定しました。